

第64回国民体育大会バスケットボール競技会

GAME No. 1004A1

開催場所: 佐渡市両津総合体育館 試合区分: 成年男子 準決勝

開催期日: 2009年10月4日(日)

主審: 相原 伸康 開始時間: 10:00 副審: 川端 孝博

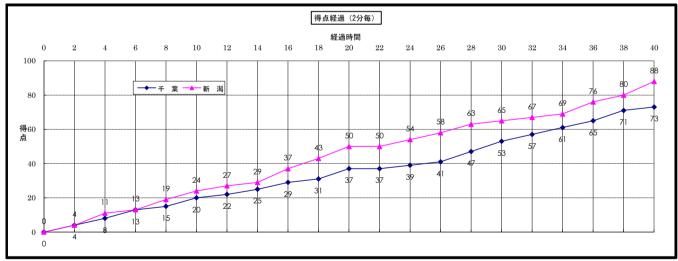
Team A 千 葉	73	20 -1st- 24 17 -2nd- 26 16 -3rd- 15 20 -4th- 23	O 88	Team B	新	澙	
---------------	----	--	---------	--------	---	---	--

TEA	M A	千 葉					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		岡村 憲司	7	0	1	5	3
5		清水 貴司	_	_	_	_	_
6	*	高橋 亮介	27	4	6	3	5
7	*	黒田 裕	23	0	9	5	0
8	*	高木 賢伸	9	1	2	2	3
9		上村 健太	0	0	0	0	1
10		梶原 剛	0	0	0	0	4
11		井上 知徳	_	_	_	_	_
12	*	戸倉 寛之	2	0	1	0	1
13		篠崎 要輔	_	_	_	_	_
14		江野沢 真	_	_	_	_	_
15	*	長谷川 武	5	0	1	3	3
Coach		砂明利 明仁					0
	TOTAL		73	5	20	18	20

Timeout	1Q • 2Q		3Q • 4Q			OT1	OT2
(経過時間)	15:38	_	29:55	38:25	-	_	_

TEA	МВ	新潟					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	岩崎 一英	11	0	4	3	3
5	*	北 健太郎	2	0	0	2	2
6		須貝 智	14	0	6	2	1
7		高木 和幸	5	1	1	0	2
8	*	堀 里也	17	2	4	3	0
9	*	藤田 浩二	2	0	1	0	3
10		齋藤 康高	0	0	0	0	1
11		中川 一理	3	0	1	1	4
12		平岡 富士貴	4	0	2	0	1
13	*	加藤 慶大	3	1	0	0	2
14		岩下 大志	24	1	9	3	2
15		堺 紀人	3	1	0	0	2
Coach		浦上 幸二郎					0
		TOTAL	88	6	28	14	23

Timeout	$1Q \cdot 2Q$		3Q • 4Q			OT1	OT2
(経過時間)	19:00	-	28:38	36:33			-



-ムレポ-

* 得点は, (Aチームの得点) - (Bチームの得点)で表記しています。

昨日の初戦、17点差で福岡を下した千葉。一方は、地元の期待を受け準決勝まで勝ち上がった新潟との対決となった。 1Q、お互いにマンツーマンディフェンスで、千葉のボールで始まり、#7黒田がレイアップシュート、#6高橋が3Pを打つが決まらない。一方の新潟 は、#8堀がジャンプシュート、#4岩崎がドライブを決め先制する。千葉は、#7黒田にボールを集めるが、新潟のディフェンスに阻まれシュートを打 てず苦しい展開である。しかし、#6高橋の速攻や#7黒田のリング下シュートが決まり応戦する。新潟は、#13加藤が3P、#4岩崎がレイアップ シュートを連続で決め加点する。 互いにシュートミスもあるが、一進一退の攻防。 新潟が24-20と4点リードで終わる。

2Q、開始、互いにシュートを打つが決まらない。新潟は開始1分に連続ファールをするが、#14岩下のジャンプシュートが決まり流れをつくる。中盤 子葉は、#7黒田がリング下シュート、#8高木が3Pを決めるが点差は縮まらない。残り5分半にタイムアウトを取るが、流れは変わらない。新潟は、#14岩下のジャンプシュートが要所で決まり、さらに#8堀の3Pや#7高木の速攻でリズムをつくり、新潟が50-37と13点をリードして折り返す。

3Q、13点差を追う千葉は、#12戸倉の3Pや#6高橋のジャンプシュートが決まらず、苦しい展開である。互いに厳しいディフェンスで、開始2分間 は得点することが出来ない中、千葉は#4岡村がレイアップシュートを決めたのをきっかけに流れをつかみ始める。しかし、新潟は#6須貝がジャンプ シュートを連続で決め加点する。一方の千葉も、#8高木と#6高橋が3Pを決め追い上げるも点差は縮まらず、65-53と新潟が12点差をつけて終 わる。

4Q、お互いに激しいプレーが続き、ファールが重なる中、千葉は#6高橋のドライブや3P、#7黒田のリング下シュートが決まり、残り3分5点差まで 追い上げる。一方の新潟は、要所でメンバーを変え、#14岩下のジャンプシュートが的確に決まり加点する。さらに#6須貝のレイアップシュートも決 まり千葉を再び引き離していく。地元の応援が選手のプレーにも伝わり、88-73と新潟が接戦を制し、決勝に進んだ

記載責任者 (所属) 新潟県バスケットボール協会 渡辺 诱